

第2回二条大橋デザイン検討会議 摘録

- 日 時：平成28年1月28日（木） 19時00分～20時30分
- 場 所：職員会館 かもがわ 3階 大多目的室
- 出席者：委員・・・8名全員，報道機関・・・2名，傍聴者・・・なし

○議事内容

1 開会

2 事務局より資料説明

- ・議題1 デザイン検討対象施設 道路照明について 資料-5 の説明

3 意見交換

- 委員 ・照明は今と同じ位置に設置するのか。
- 事務局 ・ほぼ同じ位置である。
- 委員 ・リッツカールトンホテル近傍の照明は，ホテル側に光が漏れないようにカバーで覆われているが，今回もそのような細工をされるのか。
- 事務局 ・どのような経過でホテル側に光が漏れないようにカバーで覆ったのか不明であるが，道路管理者としては，通行の安全のための明るさを確保することを第一としている。
 - ・以前は，360度拡散して照らすものもあったが，現在の照明は，セミカットオフ型という下の方だけを照らす構造になっているため，リッツカールトンホテルの方向への拡散は軽減されると思う。
- 委員 ・LED照明は，光が横方向に飛ぶため，下より横の方がかなり眩しくなるのではないか。
- 事務局 ・以前はメーカーによっては光が横方向に飛ぶものもあったが，最近はかなり改善されている。今回は電球色でもあり，眩しさはかなり軽減されると思われる。
- 委員 ・LED照明の場合，普通の照明より明るいので，電球色でも少しは眩しさを感じるのではないか。A案，B案の灯具の大きさはどれくらいか。
- 事務局 ・A案は40cm，B案は50cmくらいである。
- 委員 ・A案，B案ともに下には蓋がかかっているが，C案は蓋がかからず下から直接光が見えるのか。
- 事務局 ・そのとおりである。
- 委員 ・鴨川東側の疏水に沿って照明がついているが，これがA案と同じような形である。これとの一体性からA案がよいと思う。
- 委員 ・各案について，どの形状が照度的に有効なのか。

事務局 ・いずれの案も、基準を満足する照度は確保できている。ただ、あまり明るくしすぎると生態系に影響を与えるので、基準を満足する中でできるだけ落とすような形で考えている。

委員 ・A案の電球色がよい。

事務局 ・A案の電球色で今後検討を進めていく。
・照明柱の色については、前回の会議で検討した車両用防護柵と同様に、桁の塗装色と一体で検討したい。
・引き続き桁の塗装について説明する。

4 事務局より資料説明

・議題1 デザイン検討対象施設 橋桁の塗装について 資料-5 の説明

5 意見交換

委員 ・昭和18年の建設時からこれまで、塗装塗り替えは何回か実施されているのか。

事務局 ・具体的に何回塗り替えているかは不明である。

委員 ・私は今の橋がそれほど汚れが目立っているようには感じていない。わざわざブラウンにする必要はないと思う。

委員 ・C案はコントラストがきつい。鉄道の鉄橋のようで見目がよくない。長い目で見たら飽きるように思う。

委員 ・高欄と同じ色のB案にすれば、汚れも同じようになるのでは。
・B案が石製高欄と調和が図れてよいのではないか。

委員 ・ブラケットのある橋では、出町柳にある河合橋や賀茂大橋で現状を見てもらえれば、現実はどういうところで汚れが見られるのかがよくわかる。鋼の桁では、汚れや錆はどうしても出てくる。特に古い橋では、ボルトの部分でさびが出てしまう。

・賀茂大橋では、桁上のコンクリート表面の水が漏れる所などで塗装をやり直さないと汚くなってしまう。

・一方で、高野橋の場合は、ダークブラウン色なので、桁の部分の汚れがあっても、目立たない。ただ、先ほどの委員の発言の中であったように、ブラケットの連続性などの印象は若干弱まるので、橋の個性は少し弱くなるかもしれない。判断が難しいが一長一短があり、まさにどちらを選択するかとなる。

委員 ・塗装の塗り替えはこまめにできるのか。

事務局 ・橋によって異なるが、大体20年から30年位に1回実施するのが理想である。実際には財政上なかなかできていないことが多い。

委員 ・ブラケットの連続性をアピールするためにも、ブラケットの陰影がより目立つような案がよい。

- 委員 ・目立たない、今のままの青みがかったグレーのA案がよい。
- 事務局 ・橋桁の塗装色は、A案で今後検討を進めていく。
・照明柱と車両用防護柵の色はどうか。
- 委員 ・照明柱は目立たない方がよい。グレーベージュかシルバーがよいのでは。
- 委員 ・ブラウンがよいと思う。
- 委員 ・シルバーは眩しく映るように思う。グレーベージュの方がよい。
- 委員 ・グレーベージュやステンカラーは、建築の開口部のサッシなどでは外光が強いときに眩しさを抑制するため、よく用いられる。北大路橋の整備のときには、高欄の石の色と舗装の色とグレーベージュの色とをうまく組み合わせてまとめている。ほとんど違和感のない印象になっている。
・今回の場合は、舗装の色が黒に近いのでブラウン系でも合うし、グレーベージュでも合う。どちらで統一しても問題ないと思われる。
・本当に好みの問題で、どちらを選んででも間違いは起こらないと思う。ただメンテナンスだけはしっかりと行っていただくようお願いしたい。
- 委員 ・照明柱、車両用防護柵のどちらもグレーベージュにするのがよい。
- 事務局 ・それでは、橋桁は青みがかったグレー、照明柱と車両用防護柵はグレーベージュということで今後検討を進めていく。

6 事務局より資料説明

- ・議題1 デザイン検討対象施設 橋脚について 資料-5 の説明

7 意見交換

- 委員 ・川端警察署の方で割れ窓作戦を展開されており、地元も協力して落書きをすぐに消す活動を行っている。
・二条大橋の橋脚もよく落書きをされる。その意味では、C案は見た目はよいが、落書きされた後に消すことが困難である。
- 委員 ・なるべくでこぼこの少ないA案かB案がよいのでは。
- 委員 ・大雨のときに水深がわかるような目印が橋脚につけられないか。色や模様などでどのくらいまで水がきているのかが、消防団員などがわかるようなものでもよいのだが。
- 事務局 ・模様をつけるスリットの天端が、HWLという洪水水位の線になるようにすることなどはどうか。または、桁下から1mの所でスリットを止めるとかはどうか。
- 委員 ・そういった目印となる目安があればありがたい。
- 委員 ・HWLにきたらもう危ないという表示で、あと余裕高が約数十cmとかで見えていただければよい。

- 委員 ・スリットを水平にした方が、より水位がわかりやすいのではないかな。
- 委員 ・水平のスリットは汚れを落とすことが大変ではないかな。やはり掃除のしやすい縦のスリットの方がよい。
- 委員 ・掃除がしやすい方がよい。平らな部分は落書きする人のモチベーションが上がってしまうのでは。
- 委員 ・見た感じではA案がよい。
- 委員 ・スリットが少ない方が掃除しやすいのでB案がよい。
- 委員 ・すっきりしているA案がよい。
- 事務局 ・(地元委員の多数決の結果、A案が過半数)
・橋脚はA案で今後検討を進めていく。
・模様の天端の位置をどうするかは、実際の施工の段階で地元と協議をさせていただく。

8 事務局より資料説明

- ・議題2 前回からの継続検討事項 バルコニーと橋詰め広場について 資料-6 の説明

9 意見交換

- 委員 ・バルコニーと橋詰め広場については、今のままでよいと思う。
- 委員 ・親柱に水切りをつけて汚れないようにするのは重要だと思う。
・床版の張り出し部分の下面にも水切りをつけていただいて、鋼桁に水が回らないようにしていただきたい。
・地覆の外側も同様に擬石調の塗装をするのか。
- 事務局 ・擬石調の吹きつけ塗装になる。
- 委員 ・地覆の先端の所から水が鋼桁の方に回っていく可能性がある。建築物の場合、この部分に小さい水切りをつけたりする。このような工夫をして、明るい色に塗り直した桁が汚れないように検討していただきたい。
- 事務局 ・水切りについては今後検討していく。

10 まとめ

- 委員 ・二条大橋の今までの歴史を踏まえつつ、今回どのような整備を行ったのかを、若い世代に伝えていただき、引き続き橋を守っていただくことが重要と思う。

10 閉会

- 事務局 ・これまでの2回のデザイン検討会議を通じて、すべての議題について様々な御意見を伺うことができたため、今回の会議をもって二条大橋のデザイン検討会議

を閉会する。

・今後の関係機関協議や予算の都合等で、デザインの方角性が変わる場合は、再度各委員に説明する。

(以 上)